

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日

Date of Application: 2000年 8月 9日

出願番号

Application Number: 特願2000-241157

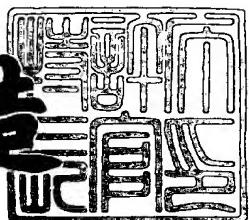
出願人

Applicant(s): 翼システム株式会社

2000年10月20日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3086454

【書類名】 特許願
【整理番号】 P-7791
【提出日】 平成12年 8月 9日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G06F 15/00
【発明の名称】 車両販売情報提供システム、車両取引システム及び方法
【請求項の数】 9
【発明者】
【住所又は居所】 東京都江東区亀戸二丁目25番14号 翼システム株式会社内
【氏名】 若林 哲
【発明者】
【住所又は居所】 東京都江東区亀戸二丁目25番14号 翼システム株式会社内
【氏名】 尾上 正志
【特許出願人】
【識別番号】 594057314
【氏名又は名称】 翼システム株式会社
【代理人】
【識別番号】 100089244
【弁理士】
【氏名又は名称】 遠山 勉
【選任した代理人】
【識別番号】 100090516
【弁理士】
【氏名又は名称】 松倉 秀実
【連絡先】 03-3669-6571
【選任した代理人】
【識別番号】 100098268

【弁理士】

【氏名又は名称】 永田 豊

【選任した代理人】

【識別番号】 100100549

【弁理士】

【氏名又は名称】 川口 嘉之

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2000-180275

【出願日】 平成12年 6月15日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012092

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9714611

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 車両販売情報提供システム、車両取引システム及び方法

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車両の名称、型式、年式等を含む車両情報と当該車両を検査した結果の車両検査情報とを対応づけて記憶する車両情報記憶手段と、

前記車両情報を入力して前記車両情報記憶手段に記憶させる車両情報入力手段と、

前記車両情報記憶手段に記憶された車両情報を検索するための入力画面を出力し、入力された条件にしたがって検索を行う検索手段と、

検索された車両情報とそれに対応する前記車両検査情報とを含み、当該車両を購入する情報を送信するための購入指示インターフェースを備えた表示情報を出力する車両情報出力手段と、を備えることを特徴とする車両販売情報提供システム。

【請求項2】

前記車両情報入力手段の入力に対応して未検査車両の検査を行うことを促す検査指示情報を出力する検査指示出力手段をさらに備え、

前記車両情報入力手段は、前記検索手段に検索されない状態で未検査車両の車両情報を前記車両情報記憶手段に記憶させ、

前記車両情報記憶手段は、前記検査指示情報を基づく検査により作成された車両検査情報の入力に応じて前記車両情報を検索可能な状態に変更する請求項1記載の車両販売情報提供システム。

【請求項3】

車両の名称、型式、年式等を含む車両情報と当該車両を検査した結果の車両検査情報とを対応づけて記憶するステップと、

前記車両情報を入力して前記車両情報記憶手段に記憶させるステップと、

前記車両情報記憶手段に記憶された車両情報を検索するための入力画面を出力し、入力された条件にしたがって検索するステップと、

検索された車両情報とそれに対応する前記車両検査情報を表示するステップ

と、

当該車両を購入する情報を送信するステップと、からなる車両販売情報提供方法。

【請求項4】

前記車両情報入力手段の入力に対応して未検査車両の検査を行うことを促す検査指示情報を出力するステップと、

前記検索手段に検索されない状態で未検査車両の車両情報を前記車両情報記憶手段に記憶させるステップと、

前記検査指示情報に基づく検査により作成された車両検査情報の入力に応じて前記車両情報を検索可能な状態に変更するステップと、をさらに有する請求項3記載の車両販売情報提供方法。

【請求項5】

ホストに接続された端末装置上において、

表示画面上に、少なくとも車両の名称、型式、年式等を含む車両情報と、当該車両の検査情報を表示する車両販売情報提供方法。

【請求項6】

車両の名称、型式、年式等を含む車両情報を記憶する車両情報記憶手段と、少なくとも動画または音声を含む複数種類の展示情報を前記車両情報に対応づけて記憶する展示情報記憶手段と、

前記車両情報を検索する検索手段と、

検索結果の車両情報の見出しを選択可能に表示する手段と、

前記見出しを選択されたときに、当該車両情報の出力及び当該車両情報に対応する展示情報の出力を指示する出力指示インターフェースを含む車両画面情報を出力する表示手段と、を備えることを特徴とする車両取引システム。

【請求項7】

前記車両情報記憶手段は、前記車両情報とその車両を検査した結果の車両検査情報を対応づけて記憶し、

前記表示手段は、車両情報に対応付けて前記車両検査情報をさらに表示する請求項6記載の車両取引システム。

【請求項8】

前記表示手段は、当該車両を購入する情報を送信するための購入指示インターフェースをさらに備えた請求項6または7記載の車両取引システム。

【請求項9】

車両の名称、型式、年式等を含む車両情報を検索するステップと、
前記検索結果の車両情報の見出しを選択可能に表示するステップと、
前記見出しを選択されたときに、当該車両情報を出力するステップと、
前記車両情報に対応づけて記憶される、少なくとも画像または音声を含む複数種類の展示情報を検索するステップと、
前記展示情報を出力するステップと、からなることを特徴とする車両販売情報提供方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、オンラインでの中古車売買技術、特に業者間取引に有効なオンラインシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

中古車販売業者は、一般顧客より中古車の引き合いがあったときに、自社の在庫にその顧客の希望に合う車両がない場合には、業者間で提携してネットワークを介して構築した中古車データベースを参照して顧客の希望車両を探す。

【0003】

このようなネットワーク上の中古車売買においては、購入希望者（業者）が中古車の実際の品質を把握することは困難であり、データベースから得られた写真や販売者が付した査定情報のみからその購入を決定することはできなかった。

【0004】

また、文字情報や静止画データを用いて車両情報を出力した場合、実際の車両の状態を把握しにくかった。とくに、静止画で塗装面の様子を忠実に表現するには、画像の解像度を高くしたり、高度な撮影技術が必要であった。このような画

像を用いることは、通信負荷や撮影コストの問題から実際上困難であるため、ネットワーク上の中古車売買は、斜め前方から全体を撮影した画像を用いて運用されている。このような画像からは、文字情報が示す車名やモデル名、色などが正しいこと、および衝突損傷がないこと、程度しか把握できなかった。

【0005】

従って、従来は、購入希望者がデータベースで中古車を検索し、希望車両を引き当てた後、電話やFAX等で検査員に検査を依頼し、その検査結果を基に販売価格その他の売買条件を最終決定し、一般顧客との商談に入るという手順が採られていた。

【0006】

そのため、車両の検索・引当から購入決定までに少なくとも2~3日を要していた。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

本発明はこのような従来の技術の問題点に鑑みてなされたものである。本発明は、中古車の購入希望者に購入の意志決定を促進させる情報処理技術を提供するものである。

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明は前記課題を解決するために、以下の手段を採用した。

【0009】

すなわち、本発明は、車両販売情報提供システムであり、車両の名称、型式、年式等を含む車両情報と当該車両を検査した結果の車両検査情報とを対応づけて記憶する車両情報記憶手段（13、14）と、

車両情報を入力して前記車両情報記憶手段（13、14）に記憶させる車両情報入力手段（27、28）と、

車両情報記憶手段（13、14）に記憶された車両情報を検索するための入力画面を出力し、入力された条件にしたがって検索を行う検索手段（12）と、

検索された車両情報とそれに対応する前記車両検査情報を含み、当該車両を購

入する情報を送信するための購入指示インターフェース（44）を備えた表示情報を出力する車両情報出力手段（26）と、を備えることを特徴とするものである。

【0010】

この車両販売情報提供システムは、上記車両情報入力手段（27、28）の入力に対応して未検査車両の検査を行うことを促す検査指示情報を出力する検査指示出力手段（2b、26）をさらに備え、

車両情報入力手段（27、28）は、検索手段に検索されない状態で未検査車両の車両情報を車両情報記憶手段（13、14）に記憶させ、

車両情報記憶手段（13、14）は、上記検査指示情報に基づく検査により作成された車両検査情報の入力に応じて車両情報を検索可能な状態に変更してもよい。

【0011】

また、本発明は、車両情報販売方法であって、ホストに接続された端末装置上において、表示画面上に、少なくとも車両の名称、型式、年式等を含む車両情報と、当該車両の検査情報を表示するものでもよい。

【0012】

また、本発明は、車両取引システムであって、

車両の名称、型式、年式等を含む車両情報を記憶する車両情報記憶手段（13、14、52）と、

少なくとも動画または音声を含む複数種類の展示情報を車両情報に対応づけて記憶する展示情報記憶手段（13、14、53）と、

車両情報を検索する検索手段（12）と、

検索結果の車両情報の見出しを選択可能に表示する手段と、

見出しを選択されたときに、当該車両情報の出力及び当該車両情報に対応する展示情報の出力を指示する出力指示インターフェース（55）を含む車両画面情報を出力する表示手段（16）と、を備えることを特徴とするものである。

【0013】

この車両取引システムにおいて、車両情報記憶手段（13、14、52）は、

前記車両情報とその車両を検査した結果の車両検査情報を対応づけて記憶し、

前記表示手段は、車両情報に対応付けて前記車両検査情報をさらに表示してもよい。

【0014】

この車両取引システムにおいて、表示手段（16）は、当該車両を購入する情報を送信するための購入指示インターフェース（44）をさらに備えてもよい。

【0015】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明の好適な実施の形態を説明する。

《第1実施形態》

本発明の第1実施形態を図1から図15の図面に基いて説明する。

【0016】

図1は、本発明の第1実施形態に係る車両販売情報提供システムのシステム構成図であり、図2は、図1に示したサーバ1のハードウェア構成図であり、図3は図1に示した会員端末2等の端末措置のハードウェア構成図であり、図4から図7は、会員端末2に表示される画面例であり、図8から図13は、サーバ1のCPU12で実行されるサーバプログラムの処理を示すフローチャートであり、図14及び図15は、会員端末2等の端末装置で実行されるプログラムの処理を示すフローチャートである。

＜システム構成＞

図1に、車両販売情報提供システムのシステム構成を示す。このシステムは、情報を管理する管理会社に設置されたサーバ1と、車両販売を行う販売会社または車両を購入するユーザ自宅に設置された会員端末2と、検査員の事務所に設置された検査員端末2aと、陸送会社に設置された陸送会社端末2bとからなる。

【0017】

サーバ1は、車両の名称、型式、年式等の情報を記録する中古車データベースと、車両を検査した結果である車両検査情報を記録する検査証データベースと、車両販売会社や車両のユーザ等、サーバ1にアクセスする会員を登録した会員データベースと、車両を検査する検査員を登録した検査員データベースとを有して

いる。

【0018】

このうち、中古車データベースは、登録待ち、検査用、及び決済用の3つのデータベースから構成されている。

【0019】

中古車データベース（登録待ち）（以下登録待ちデータベースという）には、車両検査情報のない未検査の車両が登録される。

【0020】

中古車データベース（検査用）（以下検査用データベースという）には、車両検査情報が入力され、会員の購入対象となる車両が登録される。

【0021】

中古車データベース（決済待ち）（以下決済待ちデータベースという）には、会員から購入の申し込みがあり、決済待ちの車両が登録される。

【0022】

会員端末2では、販売対象の車両を登録する登録プログラムと、購入する車両を検索する検索プログラムが実行される。これらのプログラムの実行により会員端末2は、サーバ1にアクセスし、車両情報の登録、検索、及び購入申し込みの各機能を提供する。

【0023】

検査員端末2aは、サーバ1からの指令により、検査員に検査指示を報知する。また、検査員端末2aは、車両を検査した結果である車両検査情報を検査員に入力させ、サーバ1に送信する。

【0024】

陸送会社端末2bには、販売される車両の陸送指示情報がサーバ1から送信される。以下会員端末2、検査員端末2a、及び陸送会社端末2bを総称して端末装置という。

<ハードウェア>

図2に、サーバ1のハードウェア構成を示す。このサーバ1は、サーバプログラムを実行するCPU12と、CPU12で実行されるサーバプログラムや、C

CPU12で処理されるデータを記憶するメモリ13と、サーバプログラムやデータを記録するハードディスク14と、会員端末2等の端末装置と通信する通信インターフェース15と、操作者にCPU12の処理結果を表示するCRT16と、操作者がデータを入力するためのキーボード17と、操作者がCRT16上のメニュー・アイコンを操作するためのポインティングデバイス18とを備えている。

【0025】

CPU12は、メモリ13に記憶されたサーバプログラムを実行し、サーバ1としての機能を提供する。

【0026】

メモリ13は、CPU12で実行されるサーバプログラムやCPU12で処理されるデータを記憶する。

【0027】

ハードディスク14は、CPU12で実行されるサーバプログラムを記録する。また、ハードディスク14には、登録待ちデータベース、検索用データベース、決済待ちデータベース、会員データベース、及び検査員データベースが構築される。

【0028】

通信インターフェース15は、CPU12からの指令により、不図示のネットワークにアクセスし、会員端末2、検査員端末2a、陸送会社端末2bと通信する。

【0029】

CRT16は、操作者が入力したデータや、そのデータを処理した結果を表示する。

【0030】

キーボード17は、操作者が文字情報を入力するために使用される。ポインティングデバイス18（例えば、マウス、トラックボール、静電方式、光学式の指示装置、タッチパネル）は、操作者がCRT16に表示されたメニュー・アイコンを操作するために使用される。

【0031】

図3に、端末装置のハードウェア構成を示す。端末装置は、CPU22と、メモリ23と、ハードディスク24と、通信インターフェース25と、LCD26と、キーボード27と、ポインティングデバイス28と、スキャナ29と備えている。

【0032】

端末装置の構成は、サーバ1とほぼ同様であるが、CRT16に代えてLCD26を備える点、及び、車両の写真や検査証の画像データを生成するスキャナ29を備える点でサーバ1と相違する。

＜操作手順＞

[車両情報の登録]

図4に中古車に係る情報（以下車両情報という）を登録する登録画面を示す。この画面は、会員が会員端末2からサーバ1に販売する車両を登録する時にLCD26に表示される。

【0033】

この画面は、左右2列の情報入力欄を有している。画面左側には上部から、会員番号2の他、登録する車両のメーカー、型式、車名、グレード、形状、用途、外装色、カラーNo.（塗装の色番号である）、内装色、燃料の種類、シフトの方式、冷房の有無と種類、その他の装備、納車可能日、販売価格を入力する欄を備えている。

【0034】

また、画面上部から車台番号、排気量、車検年月、走行距離、セールスポイントの各入力欄、車両の写真を入力させる「写真入力」ボタン、検査証データを入力させる「検査証入力」ボタン40、及び画面に入力された情報をサーバ1の中古車データベースに登録させる「登録」ボタン41が表示される。

【0035】

これらのうち、セールスポイントには、車両販売者のコメントを自由に入力できる。

【0036】

「写真入力」ボタンを押すと、画像ファイルの名称を入力させる不図示の入力欄またはTWAIN（TWAINは、米国Hewlett-Packard社、米国Eastman Kodak社、米国Logitech社、米国Aldus社、米国Caere社が共同で策定したスキャナを制御する共通インターフェース仕様）対応のスキャナ29へ画像の取り込みを指示する不図示の指示画面が表示される。

【0037】

なお、これらのうち、通常、検査証データは、専門の検査員が入力するので、登録時に未入力でも構わない。

【0038】

販売者自らが所定の規約に従って検査を行った場合は、「検査証入力」ボタン40を押して検査証を入力するか郵送により提出するかを選択する。入力する場合、検査証は、「写真入力」と同様の方法で、検査調書をイメージで入力する。

【0039】

郵送により提出が選択された場合、その旨の通知が会員端末2からサーバ1に発せられる。この場合、上記登録完了時に車両管理番号が付されるので、その番号を検査証に記入して郵送する。あるいは、登録完了時に検査証郵送用のフォームを印刷するようにしてもよい。

【0040】

以上の各入力欄の情報、写真を含む車両情報、及び検査証データ（会員が自ら入力した場合）が図4の画面に入力された後、「登録」ボタン41がポイントティングデバイス28によって押下されると、その車両情報が会員端末2からサーバ1へ送信される。

[サーバ1での登録処理]

サーバ1は、受信した情報に検査証データが含まれているか否かをチェックする。受信した情報に検査証データが含まれている場合、サーバ1は所定の規則により車両管理番号を付与する。

【0041】

さらにサーバ1は、検索用データベースに車両情報を、また、検査証データベ

ースに検査証データを各々新規登録する。このとき、検索用データベース及び検査証データベースに登録されたデータには、車両管理番号が付加され、検索時に検索キーとして使用される。その後、サーバ1は図5の登録完了画面を会員端末2に送信する。図5に示すように、登録完了画面には、セールスポイント、写真、及び検査証の各欄に各々、「極上車」の文字列、車両の写真、及び検査証データが表示される。

【0042】

検査証データを郵送により提出する旨の指定があった場合、サーバ1は所定の規則に従い、車両管理番号を付与し、送信された車両情報を登録待ちデータベースに登録する。その後、サーバ1は図5の登録完了画面を会員端末2に送信する。ただし、このとき、検査証の箇所は、未入力と表示される。

【0043】

車両情報に検査証データが含まれていない場合、サーバ1は所定の規則に従い、車両管理番号を付与し、送信された車両情報を登録待ちデータベースに登録する。その後、サーバ1は、図5の登録完了画面を会員端末2に送信する。ただし、このとき、検査証の箇所には、未入力と表示される。

[サーバ1からの検査指示]

検査証データのない車両情報が入力された場合、サーバ1は会員データベースより登録した会員の住所地を取得し、その住所地に近在する検査員を検査員データベースより取得し、その検査員に検査指示情報を通知する。

【0044】

この検査指示情報は、登録会員の住所、名称、検査待ちデータベースに登録された車両情報、及び車両管理番号を含んでいる。この検査指示情報の通知には、検査員事務所に設置された専用の出力装置へネットワークを介して送信するか、電子メールで送信するか、ファクシミリで送信するか、印刷して郵送するかの方法を探ることができる。これらの処理に必要なメールアドレス、ファクシミリ番号、住所など検査員への宛先情報は、予め検査員データベースに記載されている。

[検査証の登録]

検査員は、検査指示情報を受け取ると、車両の所在地に赴いて検査を行う。車両は、検査員端末2aの設置された事務所に保管されている。検査員は、検査員端末2aを用いて、車両の検査結果を記録した検査証を登録する。

【0045】

図6に検査証の登録画面を示す。検査員が検査員端末2a上で、検査証登録プログラムを起動し、検査対象の車両管理番号を入力すると、検査員端末2aは、サーバ1へアクセスし、登録待ちデータベースから対応する車両情報を読み出し、図6の画面に各項目欄のデータを表示する。

【0046】

検査員は、この表示により、検査を行った車両と登録された車両情報との一致を確認する。

【0047】

検査員端末1aに接続されたスキャナ29に検査記録用紙をセットし、ポイントティングデバイス28を介して「検査証入力」ボタン42を押すと、スキャナ29が作動し、検査記録用紙の画像が検査員端末2aに取り込まれる。その後、「登録」ボタン43を押すことにより、車両管理番号と検査記録用紙の画像とがサーバ1へ送信される。

【0048】

サーバ1は、受信した車両管理番号によって示される車両情報のレコードを登録待ちデータベースから検索用データベースへ移動する。また、サーバ1は、受信した検査証データ（検査記録用紙の画像データ）を検査証データベースに車両管理番号とともに記録する。

【検索およびオンライン取引（会員端末側）】

図7に、会員が車両を購入するときの購入画面を示す。この画面は、会員端末2において、検索プログラムを起動し、車両情報を特定する項目、例えば、メーカー、車名、価格等を指定すると表示される。このとき、会員端末2はサーバ1の検索用データベース及び検査証データベースにアクセスし、対応する車両の車両情報を各項目欄に表示する。

【0049】

この表示画面において会員が「購入」ボタン44を押すと、購入者の会員番号と認証のためのパスワードを入力させる不図示のウィンドウが表示される。

【0050】

次に、会員端末2は、車両情報、車両の取引価格、陸送費等の情報を不図示の画面に表示して購入の最終確認をさせる。

【0051】

さらに、サーバ1は、発送地と到着地とに応じて設定された陸送費テーブルをメモリ13に保持しているので、陸送費を会員端末2に通知する。

【0052】

不図示の最終確認画面で購入の確認がされた場合、購入する旨の情報（車両管理番号、購入会員番号を含む）が会員端末2からサーバ1に送信される。

〔検索およびオンライン取引（サーバ側）〕

サーバ1は、車両管理番号で検索用データベースを参照し、販売会員番号を取得する。次に、サーバ1は、会員データベースを参照し、販売会員及び購入会員の情報を取得する。

【0053】

次に、サーバ1は、販売会員に対する当該車両の陸送指示情報（車両管理番号、検索用データベースに記録されている車両情報、購入会員の情報を含む）を送付する。

【0054】

この陸送指示情報の送付では、会員事務所に設置された専用の出力装置ヘネットワークを介して送信するか、電子メールで送信するか、ファクシミリで送信するか、印刷して郵送するかの方法を探ることができる。

【0055】

次に、サーバ1は当該車両情報を検索用データベースから決済待ちデータベースへ移動させる。

〔決済〕

決済は、会員の選択により、会員相互間で行うか、管理会社に決済を代行するか、または、サーバ1による電子決済によることができる。

【0056】

管理会社で決済を代行する場合は、購入会員より代金支払い（指定口座への振り込み）が確認された後、陸送指示が送付される。

【0057】

何らかの理由により、例えば、「購入指示日翌日14:00までに代金支払いのない場合は取引不成立とする」等の運用ルールにより、取引不成立となった場合、サーバ1は、当該車両情報を決済待ちデータベースから検索用データベースへ移動させ、当該車両は一般公開される。

【0058】

管理会社と提携している陸送会社には、陸送指示情報（車両管理番号、検索用データベースに記録されている車両情報、販売会員情報（発送地）、購入会員情報（陸送先）等を含む）を上記販売会員へ送付するときと同様の手段で通知する。

<作用と効果>

図8から図13にサーバ1のCPU12で実行されるサーバプログラムの処理を示す。CPU12は、システムが起動されるとこのプログラムを実行し、サーバ1の機能を提供する。

【0059】

図8に示すように、通常、CPU12は、端末装置からの要求待ちの状態にある（S1からS2）。不図示のネットワークを介して、要求があると（S2でYの場合）、CPU12は、要求の種類を判定する。

【0060】

まず、CPU12は、要求が車両登録要求か否かを判定する（S3）。要求が車両登録要求の場合、CPU12は車両登録処理を実行する（S4）。その後、CPU12は、再び要求待ち（S1）へ制御を戻す。

【0061】

要求が車両登録要求でない場合、CPU12は、要求が登録待ちデータ送信要求か否かを判定する（S5）。要求が登録待ちデータ送信要求の場合、CPU12は登録待ちデータ送信処理を実行する（S6）。その後、CPU12は、再び

要求待ち（S1）へ制御を戻す。

【0062】

要求が登録待ちデータ送信要求でない場合、CPU12は、要求が検査証登録要求か否かを判定する（S7）。要求が検査証登録要求の場合、CPU12はサーバ1での検査証登録処理を実行する（S8）。その後、CPU12は、再び要求待ち（S1）へ制御を戻す。

【0063】

要求が検査証登録要求でない場合、CPU12は、要求が検索か否かを判定する（S9）。要求が検索の場合、CPU12は検索処理を実行する（S10）。その後、CPU12は、再び要求待ち（S1）へ制御を戻す。

【0064】

要求が検索でない場合、CPU12は、要求がパスワード確認か否かを判定する（S11）。要求がパスワード確認の場合、CPU12はパスワード確認処理を実行する（S12）。その後、CPU12は、再び要求待ち（S1）へ制御を戻す。

【0065】

要求がパスワード確認でない場合、CPU12は、要求が発注か否かを判定する（S13）。要求が発注の場合、CPU12は販売処理を実行する（S14）。その後、CPU12は、再び要求待ち（S1）へ制御を戻す。

【0066】

要求が発注でない場合、CPU12は、何もせずに再び要求待ち（S1）へ制御を戻す。

【0067】

図9に車両登録処理（図8のS4）の詳細を示す。まず、CPU12は、車両登録データを端末装置から受信する（S41）。

【0068】

次に、CPU12は、受信した情報に検査証データが含まれているか否かをチェックする（S43）。

【0069】

受信した情報に検査証データが含まれている場合、CPU12は所定の規則により車両管理番号を付与する（S44）。

【0070】

次にCPU12は、検索用データベースに車両情報を登録する（S45）。

【0071】

次に、CPU12は検査証データを検査証データベースに登録する（S46）。
。次に、CPU12は、図5の登録完了画面を会員端末2に送信する（S47）
。その後、CPU12は、車両登録処理を終了する。

【0072】

一方、受信した情報に検査証データが含まれていない場合、サーバ1は所定の規則に従い、車両管理番号を付与する（S48）。

【0073】

次に、CPU12は、送信された車両情報を登録待ちデータベースに登録する（S49）。次に、サーバ1は、図5の登録完了画面を会員端末2に送信する（S50）。ただし、このとき、検査証の箇所には、未入力が表示される。

【0074】

次に、CPU12は、会員データベースより登録した会員の住所地を取得する（S51）。

【0075】

次に、CPU12は、その住所地に近在する検査員を検査員データベースより取得する（S52）。次に、その検査員に検査指示情報を発する（S53）。その後、CPU12は、車両登録処理を終了する。

【0076】

図10に、登録待ちデータ送信処理（図8のS6）の詳細を示す。まず、CPU12は、車両管理番号を端末装置から受信する（S61）。次に、CPU12は、登録待ちデータベースを検索し、その車両管理番号の登録待ちデータを端末装置に送信する（S62）。その後、CPU12は、登録待ちデータ送信処理を終了する。

【0077】

図11に、サーバ1での検査証データ登録処理（図8のS8）の詳細を示す。まず、CPU12は、車両管理番号、及び検査証データを端末装置から受信する（S81）。

【0078】

次に、CPU12は、受信した車両管理番号によって示される車両情報のレコードを登録待ちデータベースから検索用データベースへ移動する（S82）。

次に、CPU12は、受信した検査証データ（検査記録用紙の画像データ）を検査証データベースに車両管理番号とともに記録する。その後、CPU12は、登録待ちデータ送信処理を終了する。

【0079】

図12に、検索処理（図8のS10）の詳細を示す。まず、CPU12は、会員指定の検索キー（車名、型式、年式、排気量等）を端末装置から受信する（S101）。

【0080】

次に、CPU12は、検索用データベースから車両情報を検索する（S102）。このとき、CPU12は、車両管理番号入手する。

【0081】

次に、CPU12は、その車両管理番号を基に検査証データベースから検査証データを検索する（S103）。

【0082】

次に、CPU12は、上記車両情報と検査証データとを端末装置に送信する（S104）。その後、CPU12は、検索処理を終了する。

【0083】

図13に、販売処理（図8のS12）の詳細を示す。まず、CPU12は、注文情報（注文対象の車両管理番号、購入会員番号を含む）を端末装置から受信する（S141）。

【0084】

次に、CPU12は、その車両管理番号に基づき、検索用データベースから販売会員の会員番号を求める。そして、その販売会員の会員番号と購入会員の会員

番号に基づき、会員データベースから販売会員及び購入会員の情報（住所等）を検索する（S142）。

【0085】

次に、CPU12は、販売会員へ陸送指示情報を送付する（S143）。

【0086】

次に、CPU12は、車両情報を検索用データベースから決済用データベースへ移動する（S143）。その後、CPU12は、販売処理を終了する。

【0087】

図14及び図15に会員端末2等で実行されるプログラムの処理を示す。会員端末2のCPU22は、これらのプログラムを実行し、会員端末2等としての機能を提供する。

【0088】

図14に、検査員端末2aにおける検査証登録処理を示す。この処理では、まず、CPU22は車両管理番号を入力させ、その車両管理番号に対応する登録待ちデータをサーバ1に検索させ、検索結果をLCD26に表示する（S200）。このとき、検査員は、登録待ちの車両情報を確認する。

【0089】

次に、CPU22は、検査証データの入力待ちになる（S201）。検査員が検査記録用紙をスキャナ29にセットし、「検査証入力」ボタン42を押すと、CPU22は登録指示を検出する（S202でYとなる）。

【0090】

次に、CPU22は、「登録」ボタン43が押されるのを待つ（S203）。「登録」ボタン43が押されると、CPU22は、スキャナ29から読み取った検査証データをサーバ1に送信する（S204）。その後、CPU22は、検査証登録処理を終了する。

【0091】

図15に会員端末2における検索・発注処理を示す。この処理では、CPU22は、指定された検索条件（車名、型式、年式、排気量等）による車両情報の検索をサーバ1に指示し、検索された結果をLCD26に表示する（S209）。

【0092】

会員が購入を希望せず、終了を指示した場合（S210でYの場合）、C P U 22は、検索・発注処理を終了する。

【0093】

会員が購入を希望せず、再度検索を希望する場合（S211でNの場合）、C P U 22は、S209の処理へ制御を戻す。

【0094】

会員が「購入」ボタン44を押した場合（S211でYの場合）、C P U 22は、パスワードを入力させ、そのパスワードと会員番号との整合をサーバ1に問い合わせる（S212）。

【0095】

パスワードが正しい場合、C P U 22は、車両情報、購入価格、陸送費用等を明示し、最終確認をさせる（S214）。

【0096】

最終確認がOKの場合、C P U 22、購入する旨の情報をサーバ1に通知する（S216）。その後、C P U 22は、検索・発注処理を終了する。

【0097】

一方、最終確認で会員が了解しなかった場合（S215でNの場合）、C P U 22は、制御をS209に戻し、次の車両情報の検索を実行する。

【0098】

以上述べたように、本情報システムによれば、中古車の購入希望者は、データベースで検索した中古車の仕様に関する車両情報とともに、当該中古車の検査情報を参照できる。このため、本情報処理システムは、購入希望者がその中古車を購入する意志決定を促進させる。

【0099】

また、本情報処理システムによれば、業者が顧客といっしょに画面を見ながら検索し、車両情報とともに、当該中古車の検査情報を参照できる。このため、売買の成立が促進される。また、業者による商品の手配の期間が短縮され、顧客の要求に迅速に対応できる。

<登録画面の変形例>

上記実施形態では、検査証データは、検査記録用紙のイメージで入力された。しかし、本発明の実施は、検査証の入力方式、表示方式には限定されない。例えば、検査調書の検査項目ごとに入力欄を設けてコードデータで入力し、検査項目ごとにデータを記録し、表示できるようにしてもよい。

【0100】

また、本発明の実施は、検査証データの入力装置や入力の時期には限定されない。例えば、検査員は、検査員端末2aを用いず、検査記録用紙を管理会社へ郵送してもよい。検査記録用紙を受領した管理会社では、会員からの郵送による場合と同様の手順で検査証を登録すればよい。

【0101】

上記実施形態では、車両情報は、会員端末2の登録画面から入力した。しかし、これに代えて、販売会員が車両情報の必要事項を記入した登録用紙と写真を管理会社へ送付し、管理会社にて入力操作を行ってもよい。

<データベースの構成の変形>

上記実施形態では、中古車データベースは、登録待ちデータベース、検索用データベース、及び決済待ちデータベースの3つのデータベースから構成された。しかし、本発明の実施は、このようなデータベースの構成には限定されない。例えば、これらを单一の中古車データベースに記録し、各レコードに登録待ち、検索用（公開中）、または決済待ち（購入予約済み）等の状態フラグを設けて管理してもよい。

【0102】

上記実施実施形態においては、車両登録処理時に、サーバ1が所定の規則に従い、車両管理番号を付与した。しかし、本発明の実施は、このような手順に限定されない。例えば、サーバ1が車両管理番号を付与するのではなく、車両登録データ中の車台番号をそのまま車両管理番号に使用してもよい。

《第2実施形態》

本発明の第2実施形態を図16から図21の図面に基づいて説明する。図16は、本発明の第2実施形態に係る車両取引システムのシステム構成図であり、図

17は、図16に示した中古車データベース52のデータ構造図であり、図18は、図16に示した展示情報データベース53のデータ構造図であり、図19は、図16に示した購入者端末2cに表示される検索結果一覧の表示画面の例であり、図20は、第2実施形態における購入画面を示す図であり、図21は、展示情報表示画面の例である。

【0103】

上記第1実施形態では、中古車の購入希望者が中古車の仕様に関する車両情報とともに、当該中古車の検査情報を参照できる情報処理システムについて説明した。本実施形態では、そのような車両情報とともに、車両を撮影した動画や運転時の音等のマルチメディア情報を再生する情報処理システムについて説明する。第2実施形態の他の構成及び作用については、第1実施形態と同様である。そこで、同一の構成については、同一の符号を付してその説明を省略する。また、必要に応じて図1から図15の図面を参照する。

<システム構成>

図16に本発明の第2実施形態に係る車両取引システムのシステム構成図を示す。このシステムも第1実施形態の場合と同様に情報を管理する管理会社に設置されたサーバ1と購入者端末2cとをネットワークで接続して構成する。

【0104】

本実施形態のサーバ1は、ネットワークにウェブページを提供するWWWサーバ50と、WWWサーバ50に表示データを提供するコモンゲートウェイインターフェース（以下CGI51という）と、中古車情報を格納する中古車情報データベース52と、展示情報を格納する展示情報データベース53とを備えている。

【0105】

WWWサーバ50は、HTTP（ハイパーテキスト・トランスファー・プロトコル）により、ネットワークからの要求に対して、ウェブページを提供する。

【0106】

CGI50は、WWWサーバ50から指令を受けて、データベースへの検索処理を実行する。

【0107】

中古車情報データベース52は、車両の名称、型式、年式等を含む車両情報を記録する。展示情報データベース53は、動画や音声を含む車両展示情報を記録する。

【0108】

購入者端末2cは、WWWブラウザ（以下単にブラウザ）54を有しており、WWWサーバ50にリクエストを発行し、ウェブページを表示する。サーバ1、購入者端末2cのハードウェア構成は、各々第1実施形態のサーバ1、会員端末2と同様であるのでその説明を省略する。

<データ構成>

図17に、中古車情報データベース52に記録されるレコードのデータ構成を示す。図17の1行が中古車情報データベース52のレコードに対応する。このレコードは、1台の車両に対応し、少なくとも、その車両管理番号、メーカー、型式、車名、年式、価格を有している。

【0109】

このうち、車両管理番号は、サーバ1において車両を認識するユニークなキーとして使用される数字である。車両管理番号は、第1実施形態で述べた場合と同様、サーバ1において付されてもよい。また、車両管理番号として、その車両の車台番号をそのまま用いてもよい。

【0110】

図18に、展示情報データベース53に記録されるレコードのデータ構成を示す。図18の1行が展示情報データベース53のレコードに対応する。このレコードは、1台の車両の外観や部位に関するマルチメディアデータを格納する。このレコードは、車両管理番号、展示データ番号、説明、データ形式、及び展示情報へのポインタの各欄を有している。

【0111】

車両管理番号は、図17の場合と同様、サーバ1において車両を識別するユニークなキーとして使用される数字である。また、展示データ番号は、1台の車両において展示情報を識別する番号である。

【0112】

説明の欄には、当該レコードに係る展示情報を説明するテキスト情報が保持される。このテキスト情報とは、例えば、「外観」、「ドア開閉の様子」、「エンジン音」、「塗装面」、「走行状態」、「エンジンルーム」等である。説明の欄は固定長であるので、余白にはNULデータが詰められる。

【0113】

データ形式は、当該レコードに係る展示情報のデータの種類が記録される。例えば、MPEG、MP3等である。

【0114】

展示情報へのポインタには、当該展示情報の実体が存在するハードディスク上のアドレスが記述される。CGI50は、この展示情報へのポインタを介して間接的に展示情報へアクセスする。

【0115】

展示情報データベース53において、1台の車両に対するレコード数に規定はなく、その数は任意である。また、1台の車両に対する展示情報の種類、すなわち、「外観」、「ドア開閉の様子」、「エンジン音」等の種類にも規定がなく、任意の組み合わせが認められる。

<作用>

購入希望者はブラウザにURL（ユニバーサル・リソース・ロケータ）を入力して、サーバ1の検索サービスにアクセスする。ユーザは、所望の検索条件、例えば、メーカー、車名、型式、年式、排気量等を指定して、WWWサーバ50に検索を依頼する。WWWサーバ50は、CGI50を介してデータベースにアクセスする。その結果、検索結果一覧がブラウザに表示される。

【0116】

図19に検索結果一覧の画面を示す。この画面では、各車両管理番号にハイパークリンクが設定されている。例えば、100001をクリックするとサーバ1との通信及びCGI50による処理を経て購入画面が表示される。

【0117】

図20に購入画面の例を示す。この購入画面は、「→詳細を見る」ボタン54

を除いて、第1実施形態における購入画面と同様である。車両の購入希望者が「→詳細を見る」ボタン54をポインティングデバイス28で押下すると、車両管理番号100001の展示情報の表示を指令する情報がサーバ1のCGI50に送信される。

【0118】

CGI50は展示情報データベースから車両管理番号100001に関するデータを抽出し、展示情報表示画面を構成するHTMLを組み立てて、ブラウザに返す。

【0119】

図21に、展示情報表示画面の例を示す。この画面は、左右の2つのフレームから構成される。左右のフレームには、各々、展示内容選択部55、画像表示部56が表示される。展示内容表示部55には、展示内容を示す文字列が表示される。これは、上記図18の展示情報データベース中の説明の欄に保持されていたものである。例えば、「外観」、「ドアの開閉の様子」、「エンジン音」、「塗装面」、「走行状態」、「エンジンルーム」等である。

【0120】

これらの文字列にはハイパーリンクが設定され、いずれかをクリックすると、それに対応する展示データが右フレーム内の画像表示部56に表示される。

【0121】

例えば、「外観」に対するハイパーリンクは <http://www.usedcar.com/cgi-bin/presentation?car=100001&seq=1> である。これがクリックされるとサーバ1のpresentation CGI が呼び出される。presentation CGI は、car=100001により「車両管理番号=100001」として、また、seq=1により「展示データ番号=1」として認識する。

【0122】

そして、presentation CGI は、この2つをキーとして展示情報DBのレコードを特定する。さらに、presentation CGI は、特定されたレコードの「展示情報」をMIME (Multipurpose Internet Mail Extentions) コンテンツとしてブラウザに返す。

【0123】

MIMEは、バイナリ・データの符号化の標準方式であるので、その説明を省略する。また、今日ではブラウザでMPEG、MP3その他のマルチメディアデータを再生する環境は十分に整っているため、そのメカニズムの説明は省略する。

【0124】

このようにして展示情報を確認し、購入意思が定まった購入希望者は、図20に示した購入画面の「購入」ボタン44をポインティングデバイス28で押下する。その結果、第1実施形態の場合と同様、会員情報等の認証処理を経て購入処理のステップへ入る。

【0125】

以上述べたように、本情報処理システムによれば、動画像を用いて中古車の外観や各部位を表示するので、カメラの移動による色合い、光沢、反射等の変化を表現できる。また、高解像度の静止画データを用いるよりも格段に車両の状態を把握しやすい。このため、本車両取引システムは、購入希望者がその中古車を購入する意志決定を促進させる。

【0126】

また、高解像である必要性も小さいので、動画圧縮技術の進歩とあいまって、従来と比較しても大きな通信負荷をかけることがない。

<変形例>

上記実施形態では、展示情報データベース53のレコードには、展示情報へのポインタを記述し、間接的に画像データや音声データにアクセスした。しかし、本発明の実施は、このようなレコード構成には限定されない。例えば、展示情報へのポインタの代わりに、直接展示情報、すなわち、画像データや音声データを展示情報データベース53のレコードに記録してもよい。ただし、その場合には、アクセスの容易化を図るため、展示情報は固定長にすることが望ましい。

【0127】

本実施形態では、第1実施形態と同様、図20に示したように、購入画面において検査証を表示する。しかし、本発明の実施は、このような構成に限定される

ものではない。

【0128】

すなわち、検査証と切り離して、本実施形態で述べた車両情報と動画・音声等を含む展示情報の組み合わせの効果によって、購入希望者の中古車を購入する意志決定が促進させる。もちろん、本実施形態の構成を第1実施形態の構成と組み合わせてもよい。

【0129】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、中古車の購入希望者に購入の意志決定を促進させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施形態に係る車両販売情報提供システムのシステム構成図

【図2】サーバ1のハードウェア構成図

【図3】端末装置2のハードウェア構成図

【図4】登録画面を示す図

【図5】登録完了画面を示す図

【図6】検査証登録画面を示す図

【図7】第1実施形態における購入画面を示す図

【図8】サーバプログラムの処理を示すフローチャート

【図9】サーバ1の車両登録処理を示すフローチャート

【図10】サーバ1の登録待ちデータ送信処理を示すフローチャート

【図11】サーバ1の検査証登録処理を示すフローチャート

【図12】サーバ1の検索処理を示すフローチャート

【図13】サーバ1の販売処理を示すフローチャート

【図14】端末装置2の検査証登録処理を示すフローチャート

【図15】端末装置2の検索・発注処理を示すフローチャート

【図16】本発明の第2実施形態に係る車両取引システムのシステム構成図

【図17】中古車データベースのデータ構造図

【図18】展示情報データベースのデータ構造図

【図19】検索結果一覧の表示画面の例

【図20】第1実施形態における購入画面を示す図

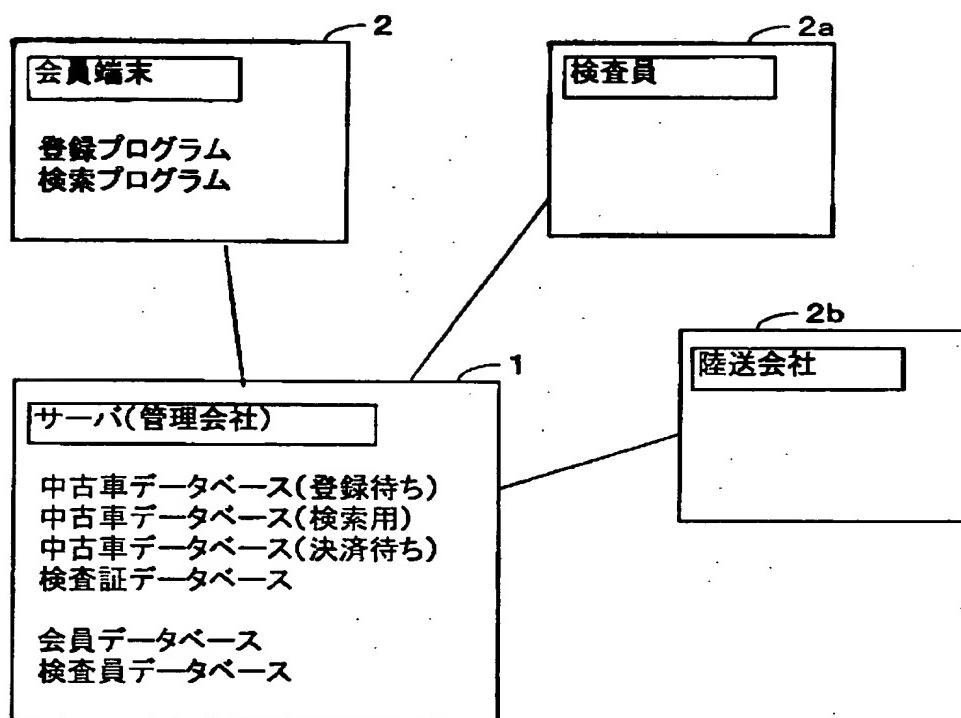
【図21】展示情報表示画面の例

【符号の説明】

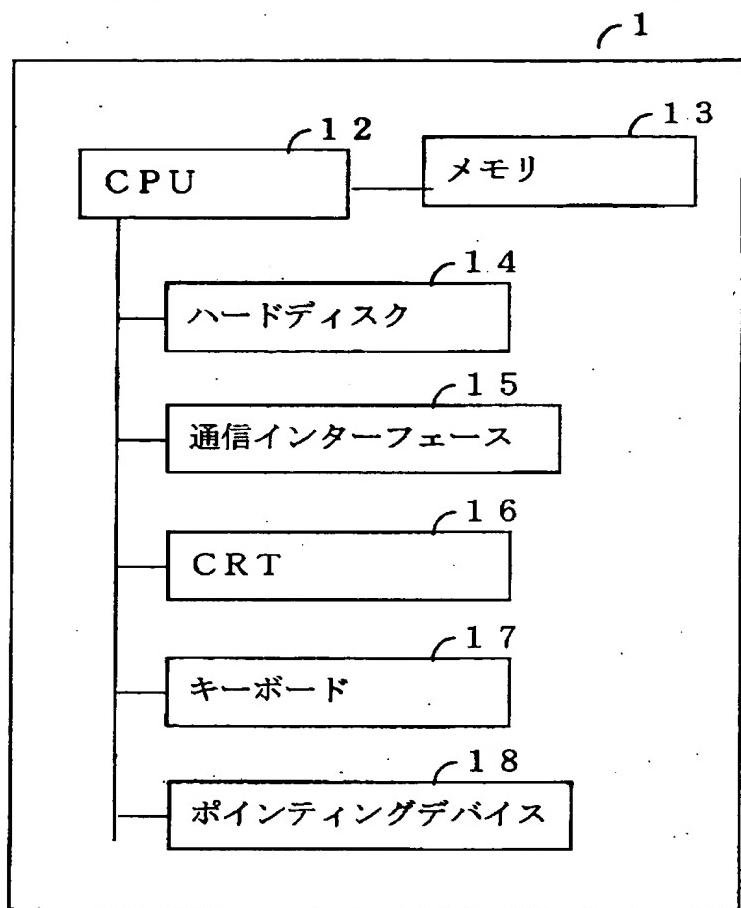
- 1 サーバ
- 2 会員端末
- 2 a 検査員端末
- 2 b 陸送会社端末
- 2 c 購入者端末
- 1 2、2 2 C P U
- 1 3、2 3 メモリ
- 1 4、2 4 ハードディスク
- 1 5、2 5 通信インターフェース
- 1 6 C R T
- 1 7、2 7 キーボード
- 1 8、2 8 ポイントティングデバイス
- 2 7 L C D
- 2 9 スキャナ
- 4 0、4 2 「検査証入力」ボタン
- 4 1、4 3 「登録」ボタン
- 4 4 「購入」ボタン
- 5 0 中古車情報データベース
- 5 1 コモンゲートウェイインターフェース
- 5 2 WWWサーバ
- 5 3 WWWブラウザ
- 5 4 「→詳細情報を見る」ボタン
- 5 5 展示内容選択部
- 5 6 画像表示部

【書類名】 図面

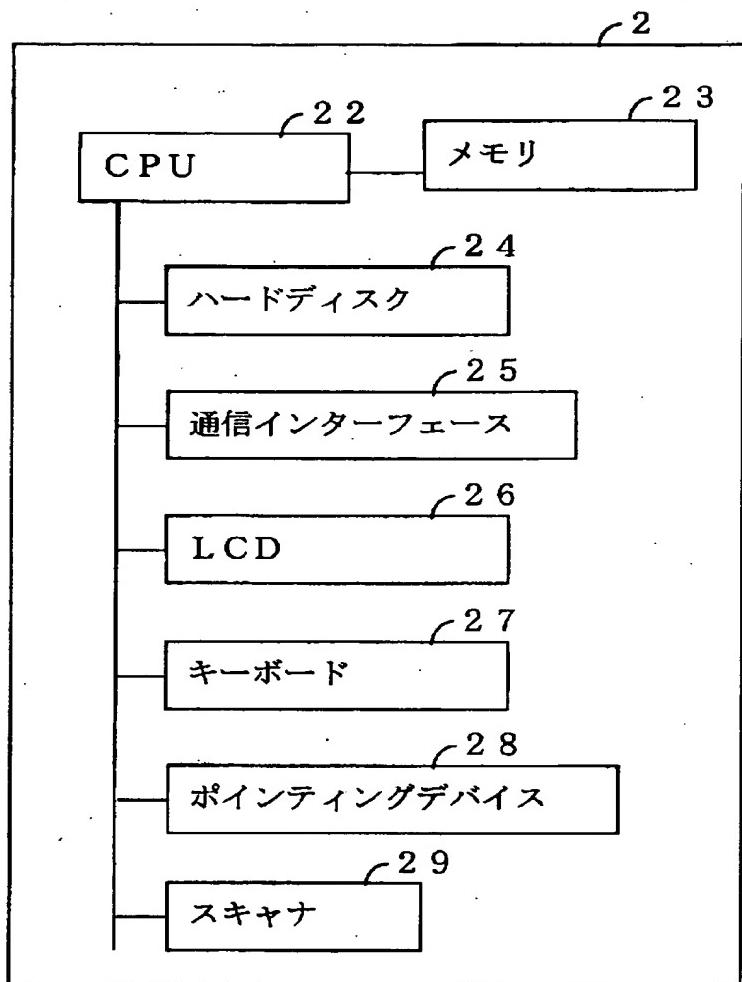
【図1】



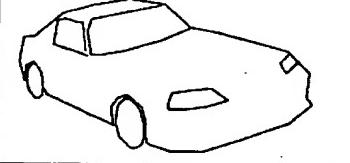
【図2】



【図3】



【図4】

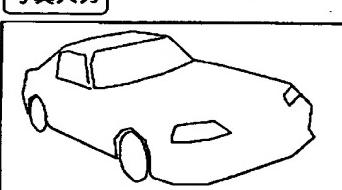
会員番号	003497	オートショップ○○○○	
メーカー	トヨ	車台番号	00123456
型式	E-JZZ31	排気量	3000cc
車名	シロ	車検	12年8月
グレード	GT	走行距離	30,000km
形状	2CP	セールスポイント	
用途	自家用	極上車	
外装色	紺	写真入力	
カラーNo	8J5		
内装色	グレー	40	41
燃料	ガソリン	検査証入力	登録
シフト	FA		
冷房	AAC		
装備	PS PW AW DP		
納車可能日	即時		
販売価格(万円)	135		

【図5】

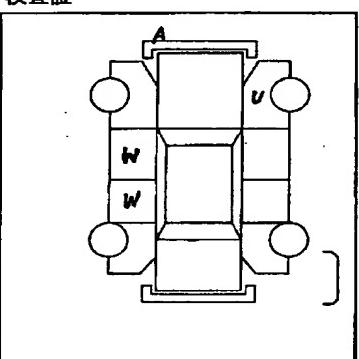
車両管理番号 5001234 で登録されました。この画面を印刷して保管して下さい

販社番号	003497	オートショップ○○○○	
メーカー	トヨ	車台番号	00123456
型式	E-JZZ31	排気量	3000cc
車名	ソ○○	車検	12年8月
グレード	GT	走行距離	30,000km
形状	2CP	セールスポイント	
用途	自家用	極上車	
外装色	紺		
カラーNo	8J5		
内装色	グレー		
燃料	ガソリン	写真	
シフト	FA		
冷房	AAC		
装備	PS PW AW DP		
納車可能日	即時		
販売価格(万円)	135	検査証	

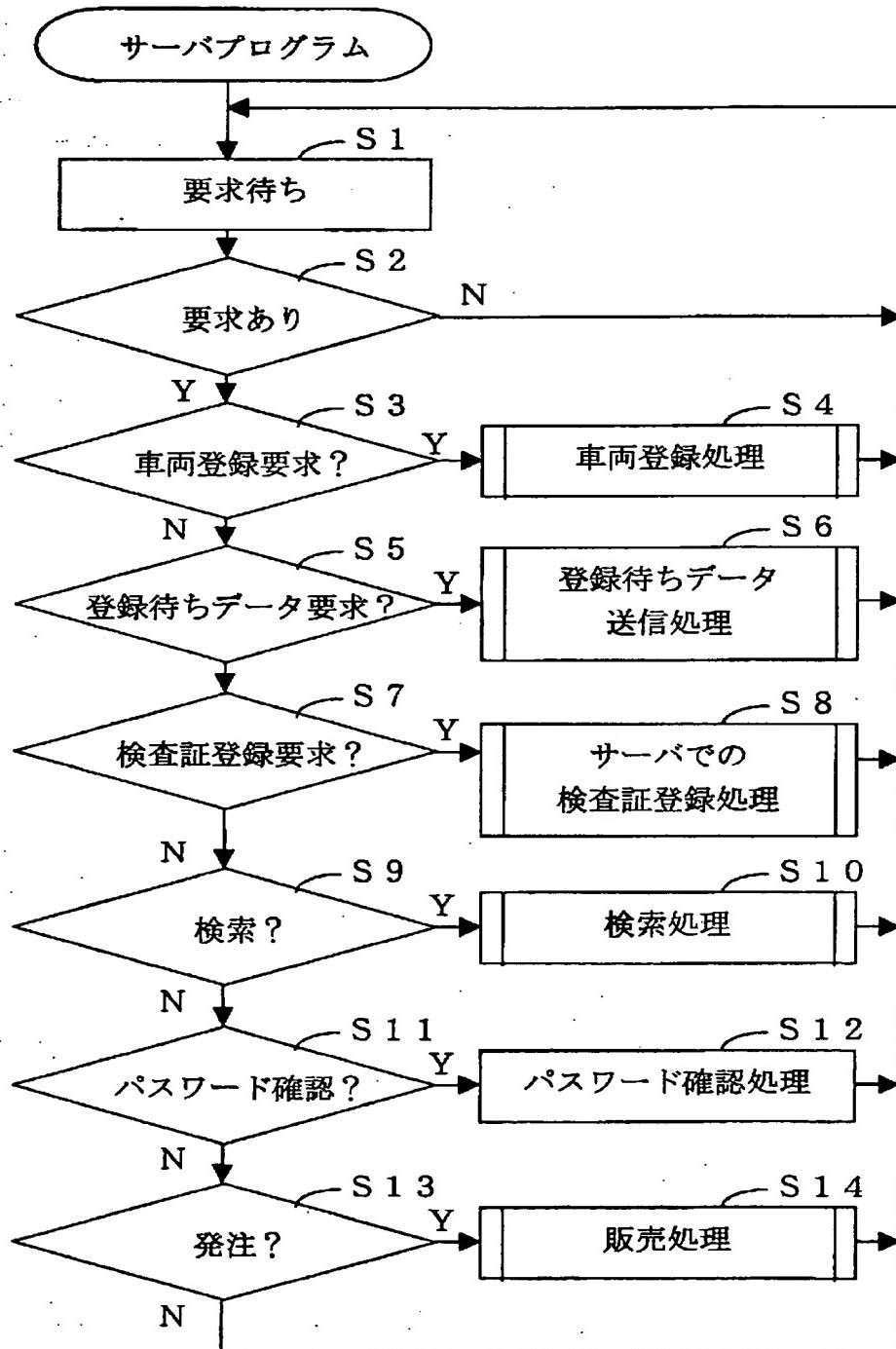
【図6】

検査員番号	0060	OO 太郎	
車両管理番号	5001234	検査実施日 年 月 日	
会員番号	003497	オートショップOOOO	
メーカー	トヨ	車台番号	00123456
型式	E-JZZ31	排気量	3000cc
車名	ソOO	車検	12年8月
グレード	GT	走行距離	30,000km
形状	2CP	セールスポイント	
用途	自家用	極上車	
外装色	紺	写真入力	
カラーNo.	8.5		
内装色	グレー	42	43
燃料	ガソリン	検査証入力	登録
シフト	FA		
冷房	AAC		
装備	PS PW AW DP		
納車可能日	即時		
販売価格(万円)	135		

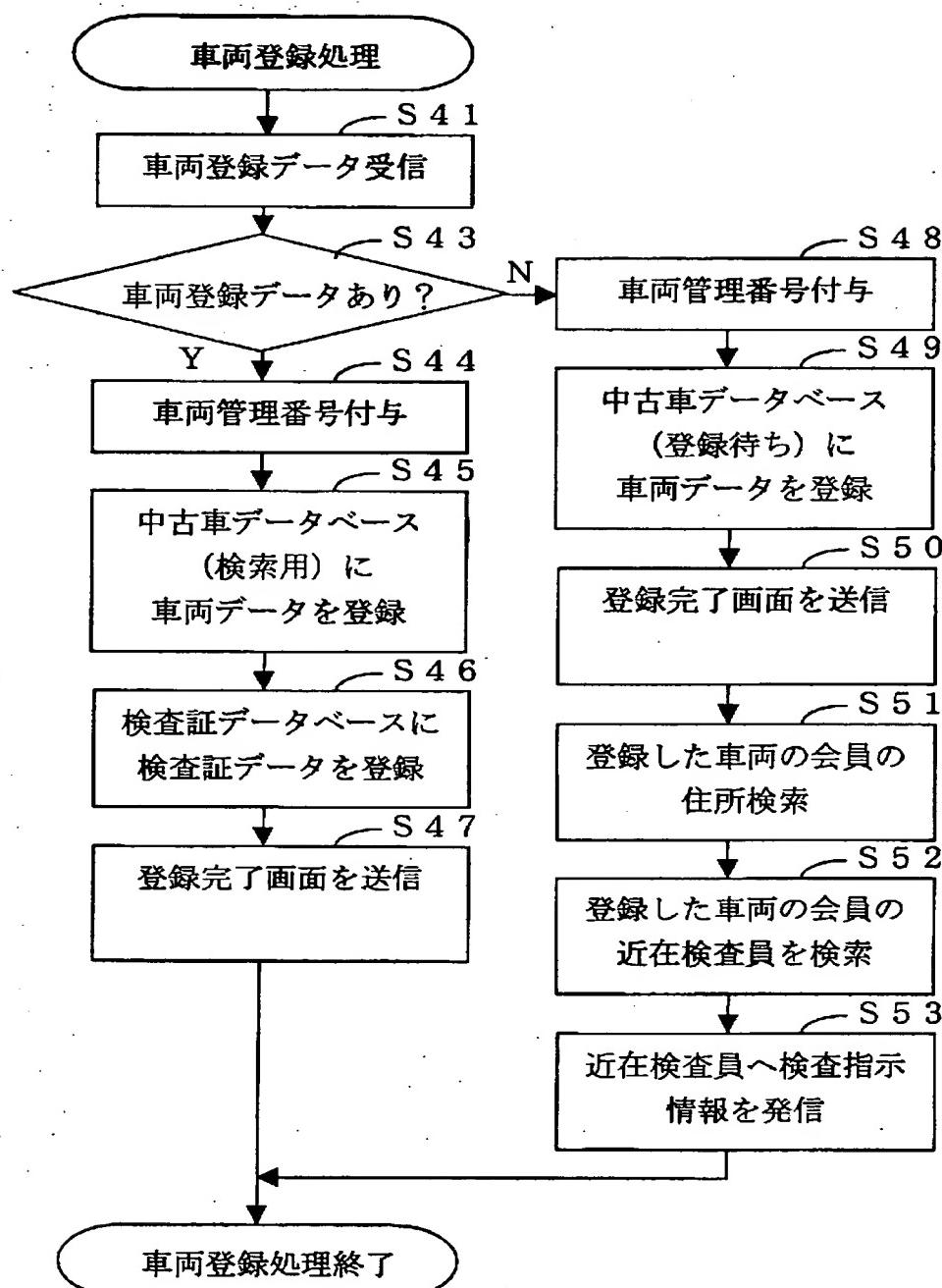
【図7】

販売者会員番号003497		オートショップ〇〇〇〇	
メーカー	ト〇〇	セールスポイント	
型式	E-JZZ31	極上車	
車名	ソ〇〇		
グレード	GT		
形状	2CP		
用途	自家用		
外装色	紺		
カラーNo.	8J5		
内装色	グレー		
車台番号	00123456	検査証	
排気量	3000cc		
車検	12年8月		
走行距離	30,000km		
燃料	ガソリン		
シフト	FA		
冷房	AAC		
装備	PS PW AW DP		
納車可能日	即時		
販売価格(万円)	140	44 購入	

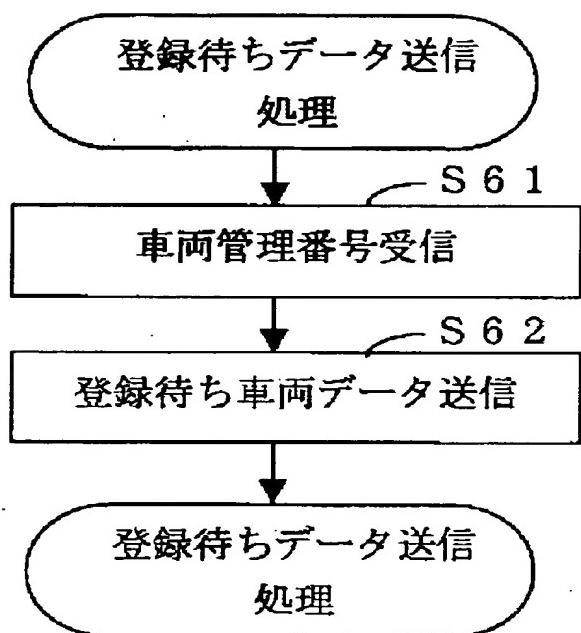
【図8】



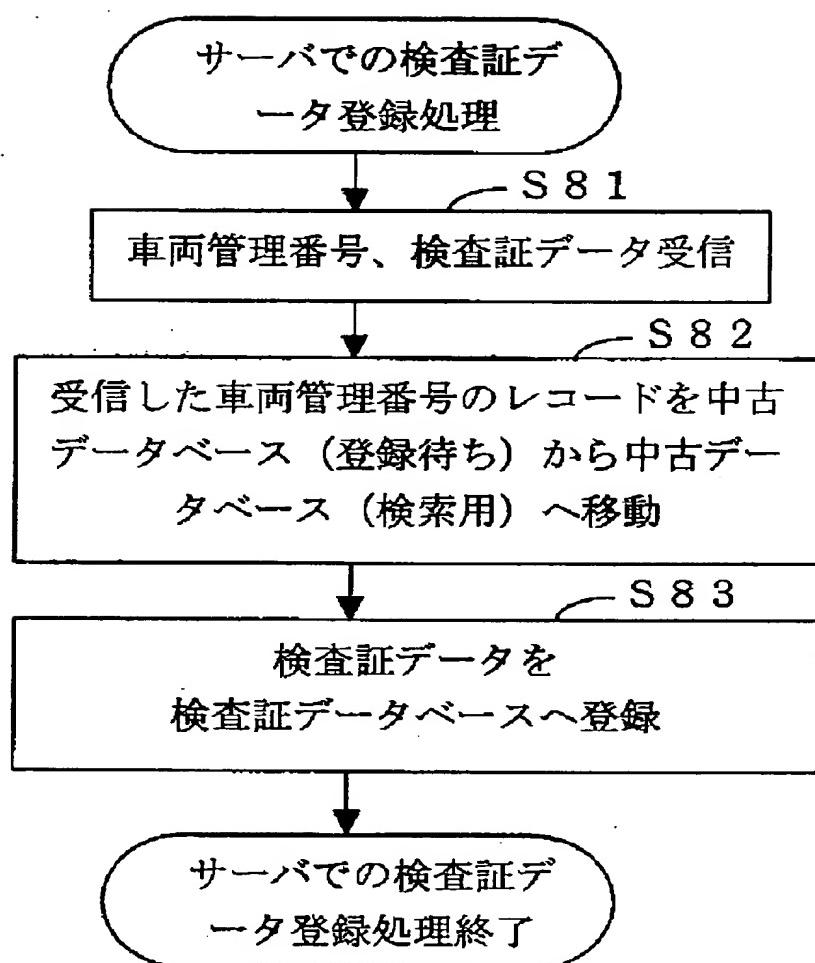
【図9】



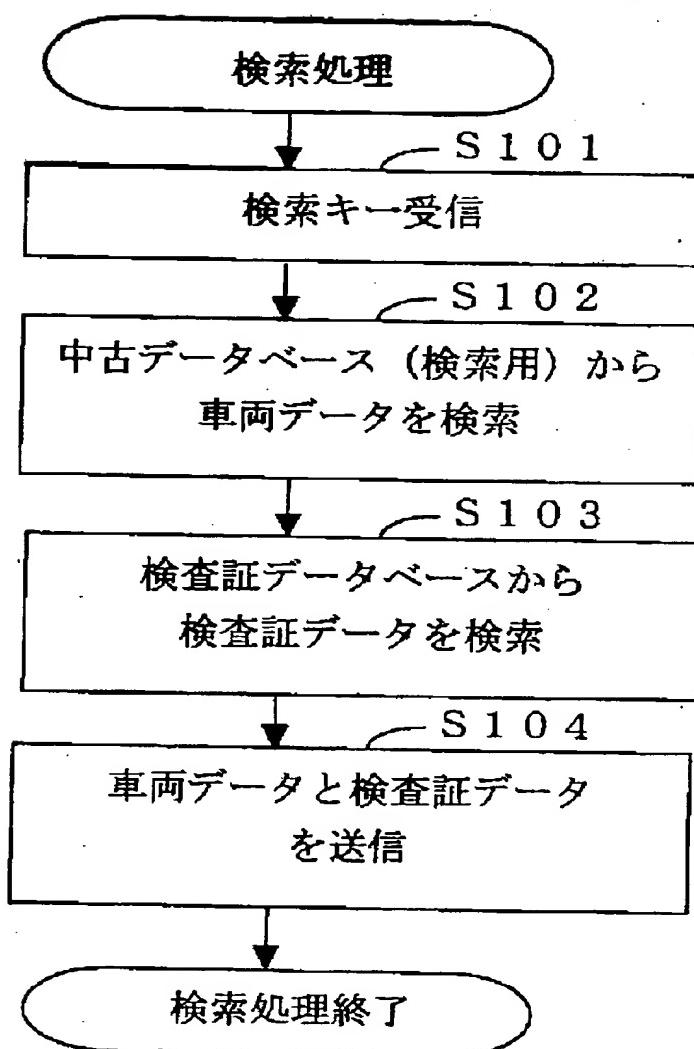
【図10】



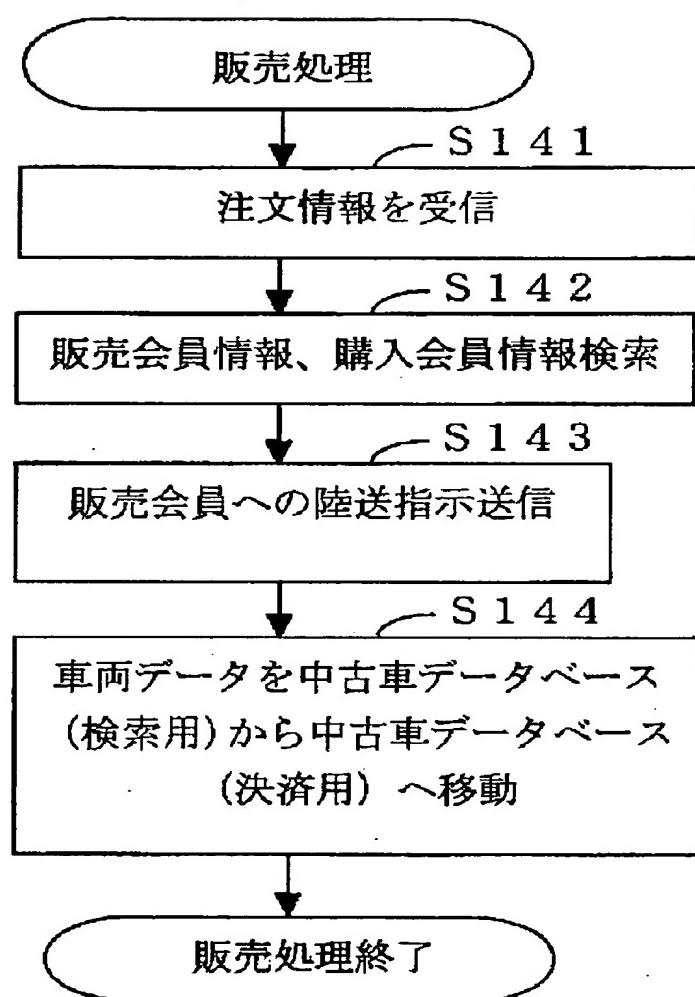
【図11】



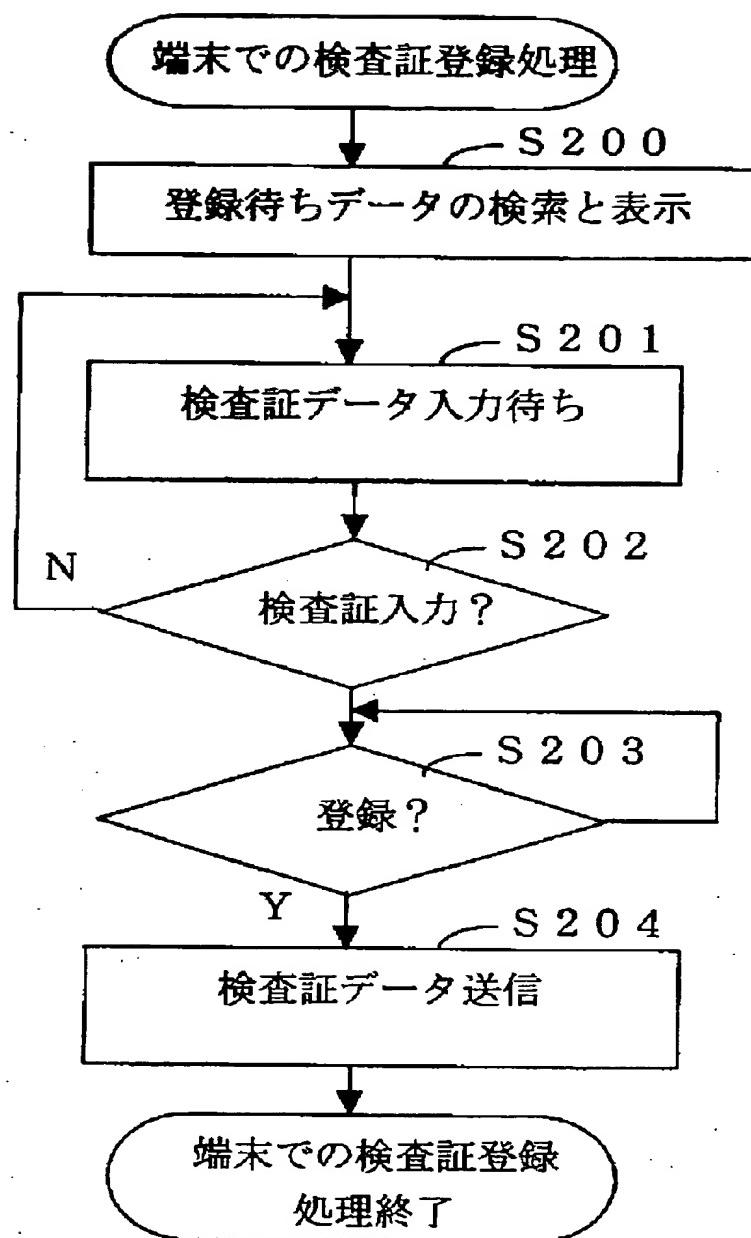
【図12】



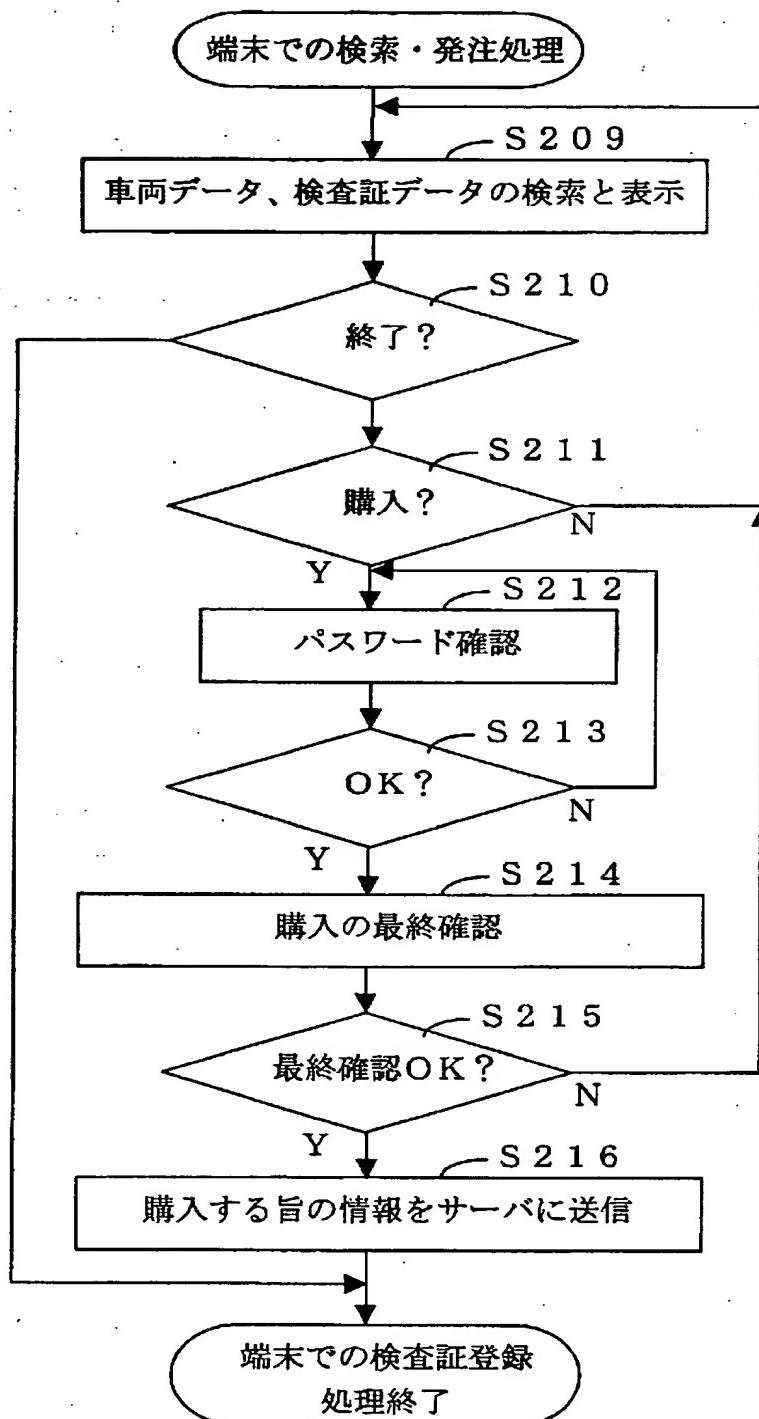
【図13】



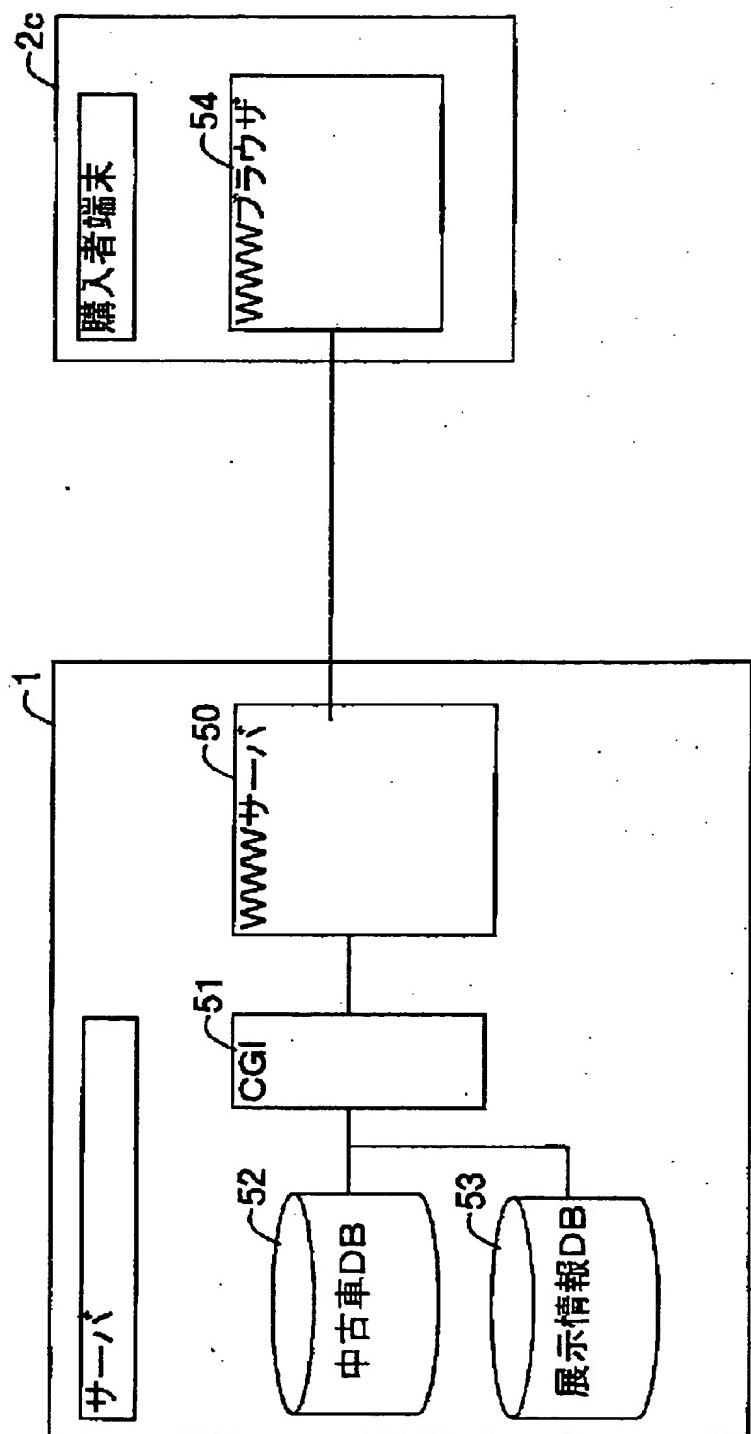
【図14】



【図15】



【図16】



【図17】

中古車データベース52 車両管理番号	メーカー	型式	車名	年式	価格
100001	TY	E-JZZ31	YOO	H09-10	180
100002	HN	DDDD	CR	H08-06	80
:	:	:	:	:	:

【図18】

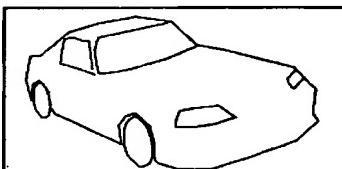
展示情報データベース番号 車両管理番号	展示データ番号	説明	データ形式	展示情報へのポインタ
100001	1	外観	MPEG	(MPEG形式の画像データ)へ
100001	2	ドア開閉の様子	MPEG	(MPEG形式の画像データ)へ
100001	3	エンジン音	MP3	(MP3形式の音声データ)へ
100001	4	塗装面	MPEG	(MPEG形式の画像データ)へ
100001	5	走行状態	MPEG	(MPEG形式の画像データ)へ
100001	6	エンジンルーム	MPEG	(MPEG形式の画像データ)へ
100002	1	外観	MPEG	(MPEG形式の画像データ)へ
100002	2	ドア開閉の様子	MPEG	(MPEG形式の画像データ)へ
100003	3	エンジン音	MP3	(MP3形式の音声データ)へ
100004	4	塗装面	MPEG	(MPEG形式の画像データ)へ
100005	5	走行状態	MPEG	(MPEG形式の画像データ)へ
100006	6	エンジンルーム	MPEG	(MPEG形式の画像データ)へ
	:	:	:	:

【図19】

【図20】

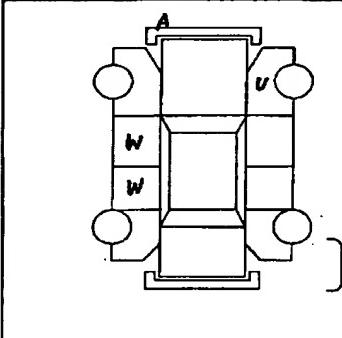
車両管理番号	100001
メーカー	TY
型式	E-JZZ31
車名	ソOO
グレード	GT
形状	2CP
用途	自家用
外装色	紺
カラーNo	8J5
内装色	グレー
車台番号	00123456
排気量	3000cc
車検	12年8月
走行距離	30,000km
燃料	ガソリン
シフト	FA
冷房	AAC
装備	PS PW AW DP
納車可能日	即時
販売価格(万円)	180

セールスポイント
極上車



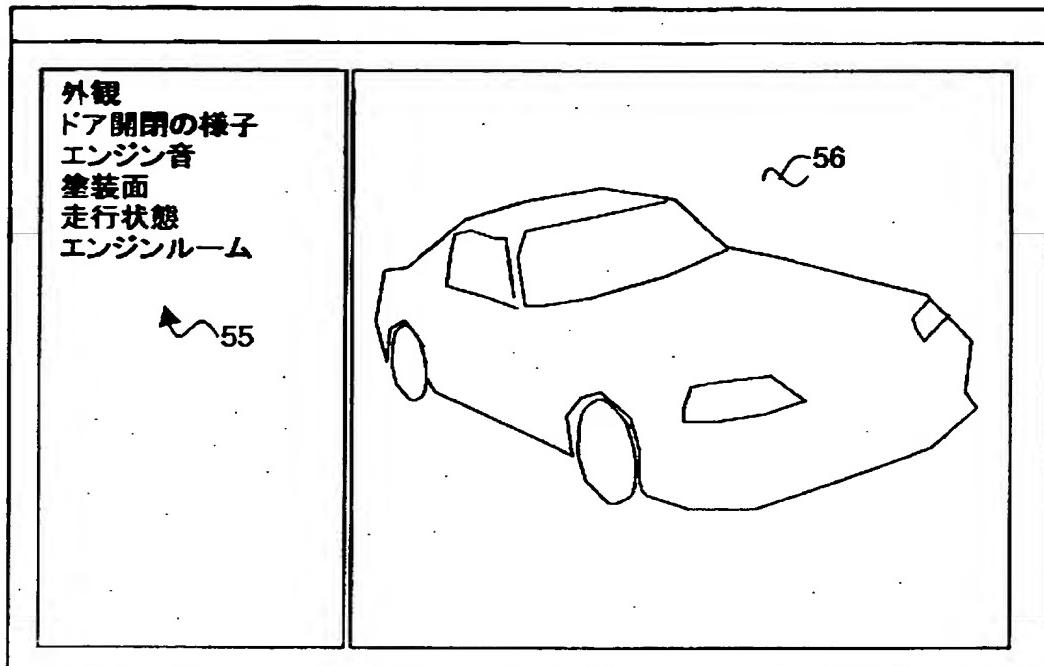
54 → 詳細を見る

検査証



44 → 購入

【図21】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】

本発明は、中古車の購入希望者に購入の意志決定を促進させる情報処理技術を提供するものである。

【解決手段】

本発明は、車両販売情報提供システムであり、車両の名称、型式、年式等を含む車両情報と当該車両を検査した結果の車両検査情報とを対応づけて記憶する車両情報記憶手段（13、14）と、

車両情報を入力して前記車両情報記憶手段（13、14）に記憶させる車両情報入力手段（27、28）と、

車両情報記憶手段（13、14）に記憶された車両情報を検索するための入力画面を出力し、入力された条件にしたがって検索を行う検索手段（12）と、

検索された車両情報とそれに対応する前記車両検査情報を含み、当該車両を購入する情報を送信するための購入指示インターフェース44を備えた表示情報を出力する車両情報出力手段（26）と、を備えることを特徴とするものである。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [594057314]

1. 変更年月日 1994年 4月 1日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都江東区亀戸2丁目25番14号
氏 名 翼システム株式会社